

プレミアムサポート デイリーレポート

2020年11月6日(金)

【昨日の海外市況】

ロンドン時間：

朝方の欧州株式はアジア時間の流れを受けて、しっかり。

リスクオン心理からのユーロ買いドル売りが進み1.17台後半から始まった。

ポンドも同様にポンド買いドル売りの流れとなり、1.30台前半でのスタート。英バンク・オブ・イングランドが量的緩和策の拡大を決めたが織り込み済として限定的な反応。

ベイリーBOE 総裁はその後の記者会見で「マイナス金利の検討作業は、重要性において全会一致。1500億ポンドの追加資産購入により、インフレを2年以内で目標値に戻す。」とした。

ニューヨーク勢が入ってきて、米株式が堅調であることを確認すると、ユーロ買いドル売りが加速、1.18台をつけた。

ドル/円は104円台前半で小動きだったが、ユーロ、ポンドがドル売りの流れになるとドル/円でもドル売りの流れとなり、104円台割れを試しに行き、本年3月以来久々に103円104円を割ったもののすぐ買い戻しが入り、再び104円台となった。

英 FTSE は+22.92 の 5,906.18、独 DAX が+243.87 の 12,568.09、仏 CAC40 が+61.14 の 4,983.99 で終了。英 FTSE では構成銘柄の7割が上昇した。

ニューヨーク時間：

米大統領選でバイデン氏が過半数にせまり、欧州各国の株式が上昇。米政治の不透明感がやや払拭されたことで、米株式も上昇し一時28,495.05（前日終値27,847.66）。

リスクオンでドルが主要通貨に対して売られた。

大接戦の選挙後、共和党が上院、民主党が下院を過半数とすることから、バイデン氏の公約が上院で通過しづらいという観点で、ハイテク企業の規制強化などが簡単にはいかないとされ、安心感が広がりアマゾンやアップルなどのハイテク企業などが買われた。

ユーロ/ドルは一時1.1860付近まで上昇と10月下旬以来のレベル。

ドル/円では104円台を割れる付近から米機関投資家のものと思われる大口のストップロスが入り、下げ幅を広げ日本時間の朝方には103円40銭台まで下落した。

米連邦公開市場委員会（FOMC）は事前予想通り据え置きとなり、大きなインパクトはなかった。

FOMC の声明の中では、「雇用最大化と長期的な 2%のインフレを目指す。これによりインフレ率は時間と共に平均 2%となり、長期的なインフレ期待は 2%にとどまる。これらの結果が達成されるまで、委員会は緩和的な金融政策の姿勢を維持する。」とし、全会一致での決定となった。

一部ではその後のパウエル米連邦準備理事会（FRB）の記者会見で「下振れリスクが拡大懸念」としたこともドル売り要因となった模様。

【コメント】

米大統領選でのバイデン氏勝利期待、そして米上院下院での割合による「ハイテク企業や金融に対する規制強化がスムーズに決定されない」されたことが好感された。

バイデン氏は“BIDEN-HARRIS TRANSITION” <https://buildbackbetter.com/> というサイトを立ち上げたが、中身はまだ明らかにされていない。

バイデン氏は IT 企業や裕福層への課税強化を念頭に、所得税の最高税率を現在の 37%から 39.6%に、法人税は 21%から 28%に引き上げる、所得税の最高税率は現在の 37%から 39.6%に、法人税は 21%から 28%に引き上げるとしている。

更に株式の売却益にかかるキャピタルゲイン課税引き上げなどを公約として掲げているが、これらの決定が上院で拒否される可能性があることが安堵感を広げている様子。

それにしても昨日の 104 円台割れはやや意外だが、本日も欧米の株式の動き、米大統領選挙を注視する必要があることは間違えない。

ドル/円は 104 円台を割り込み、ちょっとすっきりした感じがしており、ドルの買戻しも入りやすいだろう。ユーロやポンドに比べると値幅が狭い取引を続けながら、次の落ち着きどころのレベルを探しに行くことになるのではないかと。

今晚は米雇用統計の結果が発表される。今回はあまり材料視されないかもしれないが悪化している時は相場がぶれる場面もありそうだ。

また一昨日、S&P 株式指数オプションから算出される VIX（恐怖指数）が前日の 35.55 から -5.98 の 29.57 と大幅低下したが、昨日は一時更に低い 26.04 を付け 27.58 でクローズした。

20 を超えると不安心理が高まったことを示すが、これがどのように落ち着いてくるのか、来週引き続きみていきたい。

【予想レンジ】

本日：ドル円 103.20～103.70、ユーロ・ドル 1.1780～1.1860

週間：ドル円 103.20～106.20 ユーロ・ドル 1.1580～1.1900

【本日の予定】

16:00 9月独鋳工業生産（予想：前月比 2.7%／前年同月比▲6.5%）

16:45 9月仏貿易収支（予想：63.20 億ユーロの赤字）

16:45 9月仏経常収支

22:30 10月カナダ雇用統計（予想：新規雇用者数変化 10.0 万人／失業率 8.8%）

22:30 10月米雇用統計（予想：非農業部門雇用者数変化 60.0 万人／失業率 7.7%／平均時給、前月比 0.2%／前年比 4.6%）

23:00 マックレム・カナダ銀行（BOC）総裁、あいさつ

23:15 ホルツマン・オーストリア中銀総裁、講演

24:00 10月カナダ Ivey 購買部協会景気指数（予想：51.5）

24:00 9月米卸売売上高（予想：前月比 1.0%）

24:00 9月米卸売在庫（予想：前月比▲0.1%）

【お知らせ1：『セントラルミラートレーダー』への QuickShift2 等のストラテジ追加】

11月1日（日）に、「セントラルミラートレーダー」に以下のストラテジを追加しましたのでお知らせします（プロバイダはいずれもトレーデンシー社）。

■QuickShift2

■TidalWave2

なお、トレーデンシー社からは、これらはいずれも人気の高かった「QuickShift」、
「TidalWave」と同じ売買ロジックを用いた後継ストラテジであるとの報告を受けています。

【お知らせ 2：11月11日 プレミアムサポート限定セミナー】

「陳満咲杜が誰にも教えたくなかった プライスアクションを使った手法”パグマ”」

コラムニストやアナリストとして大人気の陳満咲杜氏がプライスアクションを使った手法「パグマ」をプレミアムサポート・サービスに登録いただいたお客さまだけにご紹介します。

セミナー中、陳氏にチャットで質問を行えるほか（ただし、時間の都合等でお答えできない場合があります）、セミナー後も、1週間は、メールで疑問点を質問できます（当社宛にメールを頂き、陳氏に転送します。ただし、セミナーに関係がない事項についてはお答えできませんのでご了承ください）。貴重な情報満載の特別セミナーですので、ぜひご参加ください。

■開催日：2020年11月11日（水）20～21時（予定） 先着50名様

■視聴方法：セミナー当日までに視聴用URLを記載したご案内メールをお送りします。

■レベル：中級

■参加費：無料

<セミナー詳細および申し込みはこちら>

https://www.central-tanshifx.com/topics/premiumseminar_2020/

※やむを得ない都合等により、セミナーの中止、内容の変更をする場合があります。

※当社のセミナーは、店頭外国為替証拠金取引の商品説明とともに、外国為替取引の知識、方法等をさらに深めて頂きたい等の趣旨で開催しています。セミナーの性格上、取り扱う商品の勧誘をする場合があります。あらかじめご了承ください。

なお、プレミアムサポート・サービスでは、今後、隔月で、プレミアム

サポート・サービス限定の特別ウェブセミナーを順次開催していく予定です。第二弾は、2021年1月14日（木）に当社のレポートの執筆者としても

おなじみの松崎美子氏に2021年に注目すべきファンダメンタルズ等についてお話しいただく予定です。

【注意事項】

当社による情報サービスは、お客さまの投資判断に当たって参考となる情報の提供を唯一の目的としており、断定的な判断の提供や特定の金融商品の売買等の勧誘を目的としたものではありません。

当社および情報提供者は、情報の正確性、完全性、適時性等を保証するものではなく、



情報の内容を予告なく変更する場合があります。また、当該情報の利用によって生じたいかなる損害についても、一切責任を負うものではありません。投資の最終判断は、お客さま自身で行ってくださいますようお願いいたします。当社が提供する情報の著作権は、セントラル短資FX株式会社に帰属します。当社の事前の承諾なく情報の全部または一部を引用、複製、転送などにより利用することを禁じます。